



2011年9月12日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック  
代表者名 代表取締役社長 福永 健司  
(コード番号 2342 東証マザーズ)  
問合せ先 取 締 役 船 橋 泰  
(電話番号 078-306-0590)

「GANP®マウス技術」に関する特許が中国にて成立

株式会社トランスジェニック(代表取締役社長：福永健司、熊本県熊本市)の基幹技術「高親和性抗体作製技術—GANP®マウス技術(以下、本技術)」に関連する基本特許が、中国において成立したことをお知らせいたします(特許番号 ZL200710193915.9)。

このたび中国で成立した特許は、熊本大学大学院生命科学研究部 教授 阪口薫雄らにより発明された本技術を広くカバーする特許です。なお、本技術に関する特許は、すでに中国で一部成立しているほか、米国、欧州、日本、オーストラリア、韓国で成立しています。

当社は、GANP®マウス技術を用いて得られた成果を研究用試薬として販売するほか、バイオマーカー(大腸癌、膵癌、肺癌マーカーなど)として診断薬開発や、抗体医薬を開発している製薬企業への本技術のライセンスビジネスを展開しています。

なお、本件の本年度連結業績への影響は軽微であり、業績予想には変更がありません。

◆ご参考 : GANP®マウス技術

GANP (Germinal Center Associated Nuclear Protein) とは、熊本大学 阪口薫雄教授らにより発見された遺伝子で、抗体を産生するB細胞で発現しています。

GANP®マウス技術とは、この GANP 遺伝子を過剰に発現させた GANP®マウスを用いて抗体を作製する技術です。GANP®マウスで得られる抗体は、親和性や特異性の高いことが特徴で、診断薬や抗体医薬の開発への展開が可能です。

以上